

第十一回句会 俳句

【高点句】

- ☆梅雨晴れを待つ新しきスニーカー 〈千恵〉
- ☆紫陽花の毬も会釈の回覧板 〈安津子〉
- ☆梅雨の雷一人暮らしの子を案じ 〈明美〉
- ☆紫陽花や雫をあつめ艶を増す 〈童心〉

【各自一句】

- ・曇天をチクリチクリと立葵 〈莫院〉
- ・梅雨晴間いそぎし遍路の汗ひかる 〈童心〉
- ・烏賊つりや漁り火蒼く海を染め 〈勇記夫〉
- ・教室のサッカーボール梅雨明けろ 〈撫子〉
- ・遠景のビルの林立梅雨晴間 〈眞澄〉
- ・梅雨蝶は酔ひどれ右へ左へと 〈明美〉
- ・制服の自転車急ぐ梅雨の朝 〈安津子〉
- ・梅雨の傘色とりどりに始業時間 〈青蛙〉
- ・音たてていま開かんと蓮の花 〈千恵〉
- ・父の日の祝いあるかと同期会 〈隆司〉
- ・ぐれもせでひたすら生きて七変化 〈一馬〉
- ・コーヒー滓(かす)撒かれし路地や釣忍(つりし)のぶ 〈静〉

\* 以上、35句(3句ずつ11名、2句1名)より、選句は15名による

\* 高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

\* 各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による